

8月、いよいよ本格的な夏の到来です。

例年この時期は「夏を楽しむ」として、各職員が催しを担当しています。考えられた催しは次のとおり。

#### ①流しそうめん（食べに行く、室内で楽しむ）

郊外にあるうどん屋さんで流しそうめん、屋外でも涼しくて皆さん楽しまれていました。室内でのそうめん流しも、職員のお父さんが切ってくれた竹を使ってムード満点でした。みなさん食が進みます。



#### ②盆踊り（地域のお祭りに参加）



地域のお祭り、4人の人が参加。職員も子どもを連れてボランティアしてくれ助かりました。

#### ③スイカ割り、花火

スイカ割りは皆さんに叩いてもらいました。最後は見事に割れたスイカを全員でいただきました。夕食後に外に出て花火、皆さん童心に戻って笑い声を立てていました。思いのほか混乱も無かったです。



#### ④フラダンス（習っている職員が披露）

職員のOさんと、その友人によるフラダンス公演。日ごろは部屋からあまり出てこない男性利用者さんも前列に座り、美しい踊りを堪能していたようです。最後は握手してもらい、満面の笑み！



このほか、誕生日があったり、近所の餅まきに行って大きなお餅を拾ったり、喫茶店に行ったりとイレギュラーな出来事も含め、いつもながらアクティブな吾も紅です。夏の暑さもなんのその！一人一躍、ではありませんが職員が一人ひとり何かを計画して実行するだけで、毎日彩られ職員には実行力がついていきます。

また、担当でなくても「自分も楽しみたいから」と自主的に来てくれる職員ができています。利用者さんとともに楽しむこと、それが共有であり、共生だと思います。これからも、皆さんに季節を楽しんでもらえる催しを全員で考えていきたいと思っています。

